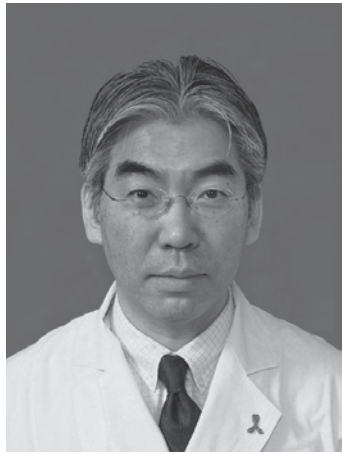


こんなときどうしたら…？



岐阜市民病院
血液内科部長兼輸血部長兼医療情報部長兼地域
連携部長兼外来化学療法センター副センター長。

高橋 健氏

(たかはし たけし)

昭和 57 年金沢大学医学部卒。専門分野は造血器
腫瘍化学療法。日本血液学会認定血液専門医・
指導医、日本内科学会認定内科医

500-8513 岐阜市鹿島町 7-1

Tel : 058-251-1101

Fax : 058-252-1335

Q 昔、友人のために病院で輸血
したことがあります。最近
頼まれることも減ったような気が
します。今はどうなっていますか。

A 以前は、特にゴールデン
ウィークや正月は、血小
板の供給が不安定となるので、患
者さんのご家族や、友人にお願い
して、血液センターに献血に行っ
ていただくことがありました。近
年は、血液センターの努力による
と思いますが、前もっての依頼に
対しては安定した供給が受けられ
ており、急な依頼に対応していた
だけることも多くなりました。

こんなとき どうしたら…？ Dr. からのアドバイス



献血

—— 当たり前になって忘れてしていること。

Q どうして献血が必要なの
か。私たちが提供した献血は、
どんな種類の輸血に使われるの
ですか。

A 血液内科は貧血などを担
当する診療科で、白血病
の治療も行います。白血病の治
療ではしばしば輸血が必要で、貧
血に対する赤血球輸血、血小板減
少に対する血小板輸血を行います。
出血に対する血小板輸血を行
います。赤血球輸血は、献血され
た 200ml あるいは 400ml の血液
をもとに、濃縮した赤血球を輸
血します。血小板輸血は成分献血
ドナーから採取された血小板を輸
血します。採血後血液の有効期限
は赤血球が 3 週間、血小板は 3 日
間です。

担当医は、患者さんの採血デー
タを確認し、病院の輸血部に輸血
を注文し、輸血部は、在庫を確認し、
期限切れで廃棄する血液が生じな
いように調整を行いながら、岐阜
市茜部にある岐阜県赤十字血液セ
ンターに血液を発注します。

Q 若い人を中心に地域の皆が献
血に協力する必要があるとい
うことでしょうか。

A 語弊を招く言い方かも知
れませんが、高度化した
現在の医療に対して、患者さん
よっては、病気が治って当たり前
との期待感も込めた認識（誤解？）
を持つておられる方がいらっし
やいます。しかし、気が付いてみ
ると我々医療者も同じようなところ
があります。赤十字血液センター
の安全と安定を考慮した供給シ
ステムに慣れてしまつて、注文した
血液は届いて当たり前と思いがち
で、届かないとかえつて輸血部に
文句を言つたりしています。

日曜日に、ショッピングセンタ
ーの駐車場で旗を振っている献血
推進ボランティアの姿や、献血ド
ナーの針を刺される瞬間の痛みを
すっかり忘れています。

献血される皆様によって治療は
支えられています。ありがとうございます。